

2020/06/01

目黒区選挙管理委員会  
委員長 二ノ宮 啓吉 様  
目黒区選挙管理委員会事務局  
事務局長 板垣 司 様

目黒区長選挙を考える会

## 選挙公報と選挙用公営掲示板ポスターの掲載内容の扱いについて

日頃、選挙の自由及び言論の自由に向けて公正な識見により職責を遂行されている貴職に敬意を表します。

さて、目黒区民の代表を選出する先の目黒区長選挙において、現区長の青木英二候補が選挙公報、公営掲示板のポスターに「何としても共産の手から守ります」との表現をトップに記載しました。

このような記載は、公明正大かつ民主主義の精神に基づいて行われるべき目黒区長選挙において、品意を損なう行為であり、目黒区民へ差別と分断を持ち込むものと私たちは考えています。

「目黒区議会議員及び区長選挙における選挙公報発行条例」(以下、条例という)第3条 第2項で、「前項の掲載文には、他人の名誉を傷つけ、若しくは善良な風俗を害し、又は特定の商品の広告その他営業に関する宣伝をする等いやしくも選挙公報としての品位を損なう文言等を記載してはならない。」とあります。

つきましては、貴職に対し下記のとおり申し入れをいたします。

なお、文書で回答いただければ幸いです。

### 記

#### 1. 選挙公報の内容について

青木英二候補は、選挙公報で「何としても共産の手から守ります」との内容を掲載しました。

通常、候補者またはその関係者と選挙管理委員会、選挙管理委員会事務局の間で記載内容を確認しているものと考えています。選挙管理委員会と選挙管理委員会事務局は、そもそもこの記載内容を確認されていますか？

#### 2. 区民、ジャーナリスト等と選挙管理委員会事務局とのやり取りについて

相澤冬樹氏が選挙管理委員会事務局に問い合わせた際（4月17日「YAHOO ニュース」後掲資料参照）に、「ポスターの表記に規制はなく、選管が申し上げることはありません」との見解が示されたとあります。また、同様の内容で区民から青木英二候補の選挙公報等について選挙管理委員会事務局へ抗議を含む問い合わせがありました。

通常、選挙管理委員会事務局は、選挙公報や公営掲示板ポスターの内容に関するやり取りについて、選挙管理委員会と情報を共有されていると思います。これらのやり取りについて選挙管理委員会事務局は、選挙管理委員会と情報を共有されていますか？

### 3. 条例(掲載の申請)第3条第2項の解釈について

私たちは、青木英二候補が選挙公報に記載した「何としても共産の手から守ります」の表現は、(掲載の申請)第3条第2項の規定「他人の名誉を傷つけ」(相手候補)に抵触するのではないかとの疑念をもっています。

- (1) 条例(掲載の申請)第3条第2項の解釈についてご教示ください。
- (2) これまで、同条例第3条第2項との関連で議論となった例はありますか？

以上

---

#### 目黒区長選挙を考える会：構成団体（順不同）

- ・ CAN(CheckActionNetwork)めぐろ
- ・ NKM&MePuCi
- ・ 区政をかえよう目黒区民の会
- ・ 国際平和と学問の発展をめざす目黒学者の会
- ・ 五本木九条の会
- ・ 市民連合 めぐろ・せたがや
- ・ 新日本婦人の会目黒支部
- ・ 戦争はごめんだ！いのちを守るオールめぐろの会
- ・ 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟目黒支部
- ・ 平和と革新をすすめる目黒懇話会
- ・ 街を飛行ルートにしないで@めぐろの会

---

参考 4/17(金) 17:11 YAHOO ニュース

選挙ポスターで「共産の手から守ります」はアリなのか？

相澤冬樹 | 大阪日日新聞編集局長・記者(元NHK記者) 4/17(金) 17:11

現職候補のポスターに「共産の手から守ります」の言葉(撮影・相澤冬樹)

私は以前、NHK社会部記者時代に東京・目黒区に住んでいたことがある。今、暮らしている大阪に関係する用件で、けさ17日、目黒区を訪れたら選挙ポスターが貼ってあった。それで初めて目黒区長選挙が行われていることを知った。3人が立候補しているようだ。

目黒区長選挙には3人が立候補(撮影・相澤冬樹)

まず目に付いたのは女性候補のポスター。「3姉妹の母」と書いてある。子育てをしてきた母親だということを強調したい気持ちはわかるが、選挙で「母」を全面に出すのはあまり好みではない。

山本ひろこ候補は「3 姉妹の母」(撮影・相澤冬樹)

その下のポスターは東大医学部卒のお医者さんらしい。学歴とともに「コロナと戦う」と書いてある。しかし、この方の専門分野を調べると消化器と出てくる。専門外のコロナに便乗している印象を受ける。たぶち正文候補は「コロナと戦う」(撮影・相澤冬樹)

最後に女性候補の左のポスターに目を向けた。「目黒区長」とあるから現職だ。そして顔のすぐ左横の目立つ場所を書いてあるのが「何としても共産の手から守ります。」という言葉。「共産」は赤地に白抜き文字で強調してある。うん？誰のことを指しているんだ？

**現職・青木英二候補は「共産の手から守ります」(撮影・相澤冬樹)**

共産系じゃないのに「共産の手から守る」？

お医者さんは「日本維新の会」と書いてあるから違う。女性候補は「立憲民主党・日本共産党・社民党・生活者ネット 推薦」と書いてあるから、この候補を指しているのだろう。だが、いわゆる野党共闘候補であって共産単独候補ではない。それに経歴を調べると去年の目黒区議選では立憲民主党の公認で立候補し、ダントツの 5202 票を獲得しトップ当選している。つまり共産系とも言えないだろう。共産党も推薦に加わっているからといって、この方を想定して「共産の手から守る」というのは事実と反する。

**「●●の手から守る」に感じる「排除の論理」と「不寛容さ」**

それにそもそも、特定の団体をターゲットに「●●の手から守る」というのは不穏当だと感じる。このポスターの主は現職の目黒区長だ。目黒区民すべてを代表する立場だ。目黒区には（どこでもそうだが）いろんな主義主張の方が暮らしているだろう。自民支持の方も共産支持の方も。目黒区議会には共産の議員が 5 人いるようだから、それだけ支持者がいるということだ。「共産の手から守る」というのは、目黒区民の一部を一方的に敵視しているように見える。

念のため申し添えると、私は共産黨員でも共産党支持者でもない。森友事件や生活保護の取材で知り合った、つつみコータローさん、宮本たけしさんのように、取材でお付き合いのある共産党の議員・元議員は何人かいるが、そういう議員は自民にも公明にも維新にも立憲民主にも国民民主にもいる。特定の党派を支援してきたわけではなく、共産党に肩入れしてもいい。ただ、このポスターの言葉が「排除の論理」「不寛容さ」の現れだと感じられて気になった。

**目黒区選管は「申し上げることはない」**

そこでまず目黒区選挙管理委員会に電話してみた。

相澤) 選挙ポスターに「共産の手から守ります」と書いてありますが、これは公職選挙法に抵触しませんか？

選管) ポスターの内容について審査していません。

相澤) いや、審査したかどうかじゃなくて、ポスターにそう書いてあることはご存じですよね？その言葉が公選法に触れないかどうか見解を尋ねているんです。

選管) 実際に行われている行為については判断できません。警察に問い合わせてください。

相澤) そうじゃないでしょうか？取り締まるかどうかを尋ねているんじゃないですか。この言葉を選挙ポスターに表記するのが公選法上問題あるのかないのか、見解を尋ねているんです。こういう場合は選管が一定の見解を示すものじゃないですか？

選管) …上役と相談して回答するというだけでもよろしいですか？

相澤) はい、お願いします。

その後、3 時間近くがたって、選管から返答があった。「ポスターの表記に規制はなく、選管が申し上げることはありません」との見解だった。

選挙公報の一番上にも「何としても共産から守ります」の言葉（関係者提供）

### 現職陣営事務所は「わかりません」

次は当のポスターを掲示している候補の陣営の事務所だ。電話して同じようにポスターの言葉について見解を尋ねた。すると電話口の相手は「私は留守番の者ですので選対の者じゃないと詳しいことはわかりません」と言う。そこで、2つの点について選対の人に確認して電話を折り返してほしいと頼んだ。

1) 「共産の手から守ります」という言葉をポスターに載せるのは公職選挙法に抵触しないのか？

これは選管への質問と同じだが、もう一点。

2) 区民を代表する区長がこういう言葉を掲げるのは、問題があるのではないかと？

電話でコメントをお願いして 3 時間がたったが返答はない。選挙戦のさなかに選対の責任者が長々と席を空けるとも思えない。そこで返答を待たずにこの記事を出すことにした。もしも返答があったら、その時点で記事を差し替えることにする。

### 標的にされた候補は「こんな人が私たちの目黒区のリーダーだったのか」

選挙とは別のそもそもの用件を済ませた私は JR 山手線の目黒駅から電車に乗ろうとした。するとたまたま、現職のポスターが標的にしたと見られる女性候補が街頭演説を行っていた。ご本人はどう思っているのだろうか？あいさつをして、演説が終わった後にこの件でコメントを頂きたいとお願いした。

JR 目黒駅前街頭演説をしていた山本ひろこ候補は…（撮影・相澤冬樹）

しばらくして届いたコメントは次の通りだ。

「描きたい目黒区の将来像や個別の政策は選挙で大いに論戦するにしても、コロナ対応で手を携えなければならぬこの時に、不要な区民の分断を生み、不毛な対立を煽る時代錯誤の政治認識に強い怒りを覚えています。こんな人が私たちの目黒区のリーダーだったのかと。」

そう語るのは、目黒区長選挙で立候補届け出番号 1 番の山本ひろこ候補（43）無所属（立憲民主・共産・社民・生活者ネット推薦）。

届け出番号 2 番はたぶち正文候補（61）日本維新の会公認。

届け出番号 3 番が現職の青木英二候補（65）無所属（自民・公明・連合東京推薦）。推薦はすべてご本人のポスターによる。

区選管によると、期日前投票はきのう 16 日の時点で 1 万 3382 人。前回同時期は 5489 人だったというから相当伸びている。

目黒区長選挙の投票は、あさって 19 日に行われる。

### 【執筆・相澤冬樹】

大阪日日新聞編集局長・記者（元NHK記者）

1962 年宮崎県生まれ。1987 年NHK記者に。山口、神戸、東京、徳島、大阪で勤務。神戸で阪神・淡路大震災を取材。大阪で JR 福知山線脱線事故を取材。大阪司法記者クラブ担当の 2017 年に森友事件に遭遇して取材を進めるが、2018 年記者を外されてNHK を退職。この時の経緯を「安倍官邸 vs NHK 森友事件をスクープした私が辞めた理由」（文藝春秋刊）という本にまとめた。現在、大阪日日新聞に務めながら Yahoo! ニュースをはじめ日刊ゲンダイや週刊文春など様々な媒体で記事を書いている。